

令和4年度 ACTR

分類 番号	A4	取組 名称	城陽市特産物の文化的・文学的・国際的イメージの調査とそれを活用したプロモーションについての研究
研究代表者所属・職名：		文学部・教授	氏名： 山口 美知代
研究担当者： 京都府立大学（山口美知代、青地伯水、佐藤洋一郎、山口エレノア） 外部分担者・協力者（城陽市役所まちづくり活性部中村雅彦氏、松本奈美氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府城陽市まちづくり活性部 商工観光課、農政課			
【研究活動の要約】			
<p>参加学生が、城陽市の特産物である農作物一茶（てん茶）、梅、イチジク、寺田イモ、花きについて城陽市役所、JA やましろ城陽支店の協力を得て、生産者の方への取材、インタビューを行い、その内容を各品目につき約5分の動画にまとめた。その動画を編集して、城陽市の地図などを加え、特産物紹介の動画を作成した。この動画について、英語、韓国語、中国語、ドイツ語版を作成した。外国語版については、日本人学生、教員、外国人留学生等が担当した。また、金銀糸について研究担当教員山口エレノア准教授が生産者を訪問し、日本語英語併用で作成した。</p> <p>令和4年12月11日に文化パルク城陽ふれあいホールで開いたシンポジウムで、学生作成の動画を上映し、奥田敏晴城陽市長、築山桂きょうと城陽応援大使からコメントを得た。製作した学生も参加して努力した点などを発表した。</p> <p>シンポジウム第二部では、研究担当教員が発表を行った。司会の佐藤洋一郎教授が「城陽の歴史と自然」を講演したのち、青地伯水教授の「城陽のテロワール」の講演を行い、城陽市の特産物である梅（特に城州白とよばれるブランド梅）について別のACTRで研究を続けてきた本学生命環境科学研究科の森本拓也講師が「城州白の魅力」としてその成果を発表した。その後、奥田敏晴城陽市長、築山桂きょうと城陽応援大使、塚本康浩京都府立大学学長、山口エレノア准教授を交えてディスカッションを行った。</p> <p>作成動画はyoutubeに公開し、その内容照会およびURL紹介、また、シンポジウムの講演内容を含んだ報告書を作成した。これは城陽市役所でも配布予定である。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>城陽市の市制施行50周年記念事業の一環として取り組まれた本事業であり、その成果を、市制施行50周年記念事業の一つとしてシンポジウムで公開することができた。</p> <p>また、城陽市と京都府立大学の間、これまでのACTR事業や市民大学における連携協力の基礎があったことも幸いして、本研究活動のなかでの対話を直接的な契機として、城陽市と京都府立大学のあいだに連携協力包括協定を締結することとなり、令和4年10月20日、城陽市役所にて協定調印式を行った。</p> <p>当初市制施行50周年記念事業として企図されたシンポジウムは、城陽市・京都府立大学連携協力包括協定記念シンポジウムとしても位置付けられ、城陽市奥田敏晴市長、京都府立大学塚本康浩学長の出席も得て開かれた。</p> <p>シンポジウムで公開された学生および教員作成の動画はyoutubeで公開されており、また、その概要やURLはA5判のカラー報告書として城陽市役所で配布されることとなった。</p>			

【研究成果の還元】

令和4年12月11日に文化パーク城陽ふれあいホールで開いたシンポジウム「特産物で語る城陽ストーリー2022」には城陽市民等約90名が参加、府大関係者を含め110名参加を得た

【お問い合わせ先】 文学部 欧米言語文化学科 教授 山口 美知代

Tel: 075-703-5286

E-mail: myama@kpu.ac.jp

参考（イメージ図、活動写真等）

特産物紹介動画

てん茶

ウメ

花き

イチジク

いちじくマルシェ

金銀糸



城陽市紹介「ようこそ城陽へ」動画 Videos about Local Specialties in Joyo

日本語

英語

韓国語

中国語

ドイツ語

